



令和8年度 学校経営の基本方針

たつの市立龍野西中学校 校長 香田 邦友

1 校訓

実践力を養う	(自ら考え正しく判断する)
創造力を伸ばす	(進歩を求めて自ら努力する)
信頼性を高める	(思いやりの心で励まし合う)

- ## 2 教育目標
- 『在りたい未来を創造する力を持ち、自立する生徒の育成』
— 自他ともに大切にできることを育む —

3 めざす学校像・生徒像・教師像

- ☆学校像 ・みんなが居心地のいい学校
- ☆生徒像 ・生きる力を持った心豊かな生徒
- ☆教師像 ・生徒に寄り添い生徒とともに学び続ける教師

4 スローガン

『たかが挨拶されど挨拶』『ありがとうという感謝の心』『学校は勉強するところ』
～学校をみんなが居心地のいい場所に～

5 指導の重点

(1) 生徒支援体制の確立

- ①安心して学び、自分らしく成長できる生徒を育てる。
- ②校則の見直しや相談体制の充実を図り、生徒に寄り添う支援を行う。
- ③関連機関と連携し、地域全体で生徒を見守る体制づくりを行う。

(2) 「確かな学力」の育成

- ①自ら学び、考え、表現できる生徒を育てる。
- ②授業改善と学習状況の把握を通して、個に応じた学びを保障する。

(3) 情報活用能力の育成

- ①ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。
- ②情報モラルを身につけ、情報社会を主体的に生きる力を育てる。

(4) 人権教育の推進

- ①多様性を尊重し、差別を見抜き差別をしない許さない生徒を育てる。
- ②同和問題に対する理解を深める中で、さまざまな差別を解消する知識と実践力を育てる。
- ③研究授業や研修会へ積極的に参加し、教職員がより確かな人権感覚や人権意識を身につける。
- ④「共に学び・共に生きる社会」の実現を目指す。

(5) 道徳教育の推進

- ①教科化についての理解を深め、成長の様子を見取り、意欲向上につながる評価を行う。
- ②「対話」により、生き方についての考えを深める道徳授業を推進する。
- ③豊かな人間性を育てることで、自分を大切にするとともに、互いを思いやり、他者を尊重できる心を育む。
- ④授業参観やオープンスクール等の機会を捉え、道徳の授業を公開し、家庭や地域の理解を得る。

(6) 特別支援教育の推進

- ①合理的配慮と組織的支援により、一人ひとりのニーズに応じた学びを保障する。
- ②個別的教育支援計画・指導計画・連携シートを活用し、入学・進級・進学時の縦の連携を密に行う。
(縦の連携)
- ③福祉・医療等関係機関との連携を図り、卒業後も切れ目のない支援を受けられるよう、支援体制の充実を図る。(横の連携)
- ④ケース会議の実施等を通して、家庭・福祉・学校のより一層の連携を図る。

(7) 小中一貫教育の推進

- ①義務教育9年間で「めざす子ども像」を小中の教職員間で共有し、その実現に向けた小中一貫教育を進める。
- ②西中校区において、研修会や情報交換等を通じて、小中教職員間の連携と協働を深めていく。
- ③生徒指導、学習指導、人権教育、総合的な学習等において、既存の取組に、小中一貫教育の視点を加えることにより、取組の充実を図る。
- ④キャリア教育の目標を明確にし、全体計画の作成・校内推進体制を整備する。

(8) 健康教育・安全教育の推進

- ①学校保健を充実し、生涯にわたる健康の基礎を培う。
- ②自らの命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成する。
- ③家庭や地域と連携して、学校防災体制の充実を図る。
- ④給食や調理実習を通して、地場産物等生産者への感謝等食育を進める。
- ⑤生活アンケートから、生徒の生活実態を把握し、心身の健康に関する指導を適切に行う。

(9) 教職員の協働体制の推進と勤務時間の適正化

- ①意欲をもって職務に取り組める職場環境づくりを進める。
- ②協働性・同僚性を大切にするとともに、迅速に対応できる組織を構築する。
- ③心身ともに健康で、子どもと向き合う時間を確保できるよう努める。
- ④勤務時間の適正化に向け、「定時退勤日」・「ノー部活デー」の完全実施等を徹底する。